



敬老会



9月14日(日)、敬老会を行いました。祝いの舞、梅野保育園園児による度肝を抜かれた素晴らしい和太鼓、元職員による歌、踊り、職員によるエイサー昔懐かしき宮崎交通バスガイド姿での職員の観光ガイド、歌に涙、笑いでのお祝い、又103歳、101歳の利用者様に手づくりのくす玉を割っていただき、お祝いにご参加頂いたご家族皆様と共に盛大なるお祝いをさせて頂きました。ゆりの里の合言葉「100歳万歳!!」の通り全員の100歳長寿を願い最後に家族会の凶師会長の万歳三唱にて余興を残しつつ全員で来年もお祝いが出来る事を願い終了致しました。

“利用者様のお元気に感謝”



ゆりの里だより

第65号

平成26年9月

- ・小規模多機能の家
- ・グループホーム
- ・高齢者専用住宅
- ・宅老所きずなの里
- ・宅老所2号館
- ・訪問介護ゆりの里

ゆりの里
佐土原町下田島 19658-1
TEL0985-72-0680
(宮崎市ゆりの里で検索可)

優しい時間(とき)の流れる、絆強い極楽の園
人情・心通わす第二の家
ゆりの里

認知症シリーズ第40回

「お金（貴重品など）が盗まれた」「〇〇が盗んだ」と言われたら

「もの盗られ妄想」と呼ばれる状態である可能性が高いです。

「置き忘れたんでしょ・しまい忘れたんでしょ」などと叱るのは逆効果です。

物がなくなり（片付けた場所を忘れてしまい）、本人はパニックを起こしている状態で、正確な判断など出来ません。

ここで怒られれば「私が困ってるのになぜ怒るのか、もしかして盗んで凶星をつかれたから、怒るのか」などと考えてしまいます。

また、「ここにあるでしょ！」と、すぐに見つけてしまうと「こんな簡単に見つけるんだからやっぱり盗んで隠すんだ」などと一方的な思い込みをするようになり、ますます妄想やおかしな事を言い出すかもしれません。

◎コツ・・・「それは大変！」と共感してあげる、一緒に探す時は本人が見つかる様に誘導する

見つけたら一緒に喜んだりするのが効果的

一緒に探してあげて見つけ出せるように「この引き出しは？」と誘ったり

他に良く話を聞いてあげたり「おやつ食べて、少し落ち着きましょうか」などと声かけ
気持ちを他に向かせる工夫も良いでしょう！

見えないもの（幻覚・幻視）が見えると訴えてきたら

頭ごなしに否定しては良くありません。本人は「見えている・そこに居る（ある）」と信じているため

「見えない・居ない」など否定すれば、「私を理解してくれない・馬鹿にしている」など家族に対して悪い感情を残してしまいます。

本人の中では幻視が事実であると思い込んでいます。誰も自分が信じているモノを頭ごなしに否定されれば、憤りを感じるのは当然です。

◎コツ・・・否定せず肯定するような演技を試みる。虫が見えると言ったら

「私が追い払うからこっちで休んで下さい」と言って部屋を移動させ環境を変えてみる

知らない人がいると言ったら「電気やガスメーターの確認の人がさっき来てみたい」

と言って安心させ決して否定せず本人の話に合わせてあげると良いでしょう！

◎お知らせとお礼◎

*小規模多機能の家（通い・宿泊・訪問のサービスを自由に組み合わせ利用者様の生活に合わせた柔軟な支援を致します）グループホームに1室空きがございます。見学・ご相談等、お気軽にお越し下さい。

*ご家族さまはじめ地域の方々の手作りの野菜、古紙、古布等あらゆる温かいお心遣いに心から厚くお礼申し上げます。

*ゆりの里ではノーマライゼーションを運営方針にかかげ、人が人として生きる日々の生活を大事にする中、身の安全、ゆりの里の利用者様であることの証として、利用者様は腕にプレスレットを装着されています。もしも何らかの事態の折には地域の皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*施設のご見学・ご利用に対しての質問等、お気軽にお電話・ご来所下さい。

作成担当者
グループホーム
伊集院・黒木

西都原へコスモス見学



昨年度は台風が重なり、早い時期でのコスモスでしたが…。
今年は見事晴天！！
満開のコスモスを見ながら美味しいお弁当を食す事が出来ました。
皆様の満面な笑みも多く見られました。



その他にも月行事やレクリエーションの一環としまして、手巻きずし作りやご利用者様宅の木になっていた柿を使ってのサラダ作り、ご利用者様による茶道教室を行いました。皆様の意見が飛び交い美味しい物が出来ました



ゆりの里だより

第 66 号

平成 26 年 10 月

- ・小規模多機能の家
- ・グループホーム
- ・高齢者専用住宅
- ・宅老所きずなの里
- ・訪問介護ゆりの里

ゆ り の 里
佐土原町下田島 19658-1
TEL0985-72-0680
(ホームページを宮崎市ゆりの里で検索頂けます)

やさしい時間(とき)の流れる、
人情・心通わす第二の家
ゆりの里
絆強い極楽の園

9年目の節目を迎えるに当たり感謝を申し上げます

平成18年10月開設から9年目を迎えることができました。

年々増え続ける多くの施設の中からゆりの里をご利用頂いている利用者様・ご家族様、関係機関、地域の方々、職員のお陰で今がある事に、心から感謝御礼を申し上げます。

地域に必要なとされる第二の家として開設を致しましたゆりの里、何年過ぎようとも何一つ変わらない想い・理念にぶれることなく、ひたすらに「今日」という利用者様にとって貴重な時間を共にさせて頂ける感謝と、利用者様の為に第二の家構築の責務を背負う職員の資質向上、人としての成長に妥協できない日々に年々身の引き締まる思いで過ごさせて頂いております。

年々ご支援いただけるゆりの里応援団も増え、新聞・雑誌・タオル・手作り野菜他多くの貴重な品々をご持参頂き、人に支えられてこそゆりの里である事へのご恩返しにも何事も見失うことなく、全力で事をなして参ります。

施設定期会議で基本がぶれてはならないと、介護とは何かを討論する際、よく利用者様に寄り添う介護と出てまいります。言葉では簡単に言うも、職員個々全員が知識・技術の資質の向上に努め続けなければ何一つ本来の利用者様方一人一人に見合う介護は出来るものはないと痛感するだけに、接遇から始まり人を尊ぶ本来の意味を履き違える又見失うことなく我々は精進を重ねて、ゆりの里は、利用者様方の心の奥底の想いを汲み取り、運営理念に唱っております。

利用者様あなたが一番笑顔になれるゆりの里

一番ホッとできるゆりの里

一番自分らしくなれるゆりの里

の構築にとことん努めて参ります。

また、これから先の高齢化へのピークを見据える中、老いていく先に介護というものがある意識を変え、高齢化になってこそ夢を持ち続けられる、生きがいとなる生き方がどうすれば出来るかを模索しつつ、介護が不要となる取組みにも着手してゆりの里から発信できるようにして行く所存であります。

いつまでも「おかえりなさい」「いってらっしゃい」の温かい言葉が流れる心ある第二の家ゆりの里をこれからも厳しくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。大切な親がいてこそ、いたからこそ今自分がいることに一生感謝を忘れない日々を過ごして参りましょう。

「感謝」

平成26年10月吉日

株式会社創寿会 ゆりの里

代表取締役 相川久仁子

◆お知らせ◆

11月19日(水)：インフルエンザ予防接種(事前に受付済)

12月23日(火)：クリスマス会

◎クリスマス会につきましては皆様のご参加をお待ちしております。



小規模多機能の家(通い・宿泊・訪問のサービスを自由に組み合わせ利用者様の生活に合わせた柔軟な支援を致します)グループホームに1室空きがございます。見学・ご相談等、お気軽にお越し下さい。

TEL：72-0680

作成者：小規模 柳井田 奈須